

日本情報考古学会第42回大会のご案内

日本情報考古学会第42回大会を下記の要領で開催いたします。意義ある大会となりますよう、皆さまのご協力をお願い申し上げます。会員はもとより、関心をお持ちの研究者・学生・一般の方々のご参加も広く歓迎いたします。お誘いあわせのうえ多数ご参加ください。お待ちしております。

日本情報考古学会第42回大会実行委員会

期日： 2019年3月23日(土)・24日(日)

会場： **岡山大学 津島キャンパス** (岡山県岡山市北区津島中3-1-1) 文法経講義棟1階 14番講義室
JR岡山駅 運動公園口(西口) 広場2Fタクシー乗り場から約7分/JR津山線 法界院駅から徒歩10分
https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html

後援： **岡山大学大学院社会文化科学研究科附属文明動態学研究センター**

特別講演

人類の拡散とニッチ構築

3月23日(土)
16:30-17:30

松本直子先生 岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授/
同研究科附属文明動態学研究センター 副センター長

第1日 3月23日(土) 文法経講義棟 1階14番講義室 13:00 開始、17:30 終了

13:00-13:10 開会式 挨拶：大会実行委員長 松本直子

研究発表 1 13:10-13:30 日本遺産をめぐる考古学的研究(Ⅱ)
鈴木重治(日本情報考古学会)

研究発表 2 13:30-13:50 岡山後樂園所在の「大立石」について(第2報)
三瓶裕司(公益財団法人かながわ考古学財団/九州大学大学院)、万城あき(岡山県郷土文化財団)

研究発表 3 13:50-14:10 階層化された情報システムのためのくずし字解読機能の試作
末代誠仁(桜美林大学)、リー・トゥアン・ナム(東京農工大学)、グエン・コング・カー(同)、中川正樹(同)、山本和明(国文学研究資料館)

研究発表 4 14:10-14:30 石造遺物調査における光拓本技術の提案と評価
上相英之(国文学研究資料館)

————— 休憩 ————— 14:30-14:40

研究発表 5 14:40-15:00 SfM-MVS の活用による発掘調査業務の効率化
目取真有香(株式会社島田組文化財事業本部)、安川賢太(同)

研究発表 6 15:00-15:20 ありふれた土器片への3D計測・記録の適用
太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)

研究発表 7 15:20-15:40 押型文土器の3D計測と観察
田中祐紀(高原町教育委員会)、中園 聡(鹿児島国際大学)、太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)、平川ひろみ(鹿児島国際大学)

研究発表 8 15:40-16:00 石器形態情報の要約方法—3D計測データ解析のために—
野口 淳(NPO 南アジア文化遺産センター)

研究発表 9 16:00-16:20 単純な土器形態を記述する—北部九州弥生時代中期の器台の形態分析—
平川ひろみ(鹿児島国際大学)、中園 聡(同)

————— 休憩 ————— 16:20-16:30

特別講演 16:30-17:30 **人類の拡散とニッチ構築**

松本直子先生 岡山大学大学院社会文化科学研究科 教授/
同研究科附属文明動態学研究センター 副センター長

懇親会 18:00～ 大学内 ピーチユニオン4階レストラン

第2日 3月24日(日) 文法経講義棟 1階14番講義室 10:00 開始、15:00 終了

研究発表 10 10:00-10:20 前方後円墳の築造規格の継承と変容
西村 淳(函館大学)

研究発表 11 10:20-10:40 「弓馬の道」と「文明の生態史観」
岡安光彦(一般社団法人 PULUSULTRA)

研究発表 12 10:40-11:00 不均質系の分析化学
三辻利一(鹿児島国際大学客員教授)

研究発表 13 11:00-11:20 蛍光 X線分析法による須恵器、埴輪の考古学的研究
三辻利一(鹿児島国際大学客員教授)

11:20- 臨時総会

————— 休憩 —————

12:40-13:30 ポスターセッション

研究発表 14 13:30-13:50 インタラクティブな遺物分布図の開発と利用—Processing を利用した多属性情報の効果的な表示方法—
野口 淳(NPO 南アジア文化遺産センター)、千葉 史((株)ラング)、横山 真(同)

研究発表 15 13:50-14:10 土器における粘土帯接合法と身体技法の関係についての試論
平川ひろみ(鹿児島国際大学)、中園 聡(同)

研究発表 16 14:10-14:30 南九州における弥生時代墳墓・墓地の実態—中期を中心として—
若松花帆(鹿児島国際大学大学院)

研究発表 17 14:30-14:50 中国考古学における欧米考古学の影響とその現状
楊 帆(鹿児島国際大学大学院)

14:50-15:00 閉会式

ポスターセッション (第2日 12:40-13:30 ※掲示は両日)

研究発表 18 古銭の磁化研究
酒井英男(富山大学)、菅頭明日香(青山学院大学)、伊藤光雅(サレジオ高専)、中村和之(函館高専)、櫻木晋一(下関市立大学)

研究発表 19 縄文時代の受傷と暴力のパターン
中川朋美(岡山大学)

研究発表 20 A Study of Interactive Matching Interface for Fractured Stone Tools
林 天放(岩手大学)、今野晃市(同)

研究発表 21 土器における同一製作者「個人」の高精度同定法の研究とその展開
中園 聡(鹿児島国際大学)、平川ひろみ(同)、太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)

宿泊は、各自でご予約下さい。

当日参加も可能ですが、会員/非会員にかかわらず、事前に学会HPの「[参加者申込フォーム](#)」(または学会事務局宛にメール)でお知らせください。【お申込みの方は受付の簡略化・講演論文集等の確保等をいたします】

大会参加費(『日本情報考古学会講演論文集』Vol.22(通巻42号)込み) 会員 2000円、非会員 3500円

懇親会(非会員も可)は第1日(土)18:00より大学内のピーチユニオン 4階レストランにて。懇親会費4500円前後を予定。

昼食は学内または周辺でおとりください。なお、日曜日はピーチユニオン 2階の「ピーチカフェテリア」が利用できません。

詳細・変更等は学会HPで逐次ご案内します。必ずご確認ください。http://www.archaeo-info.org/

お問い合わせ等は、学会事務局まで。必ずメールでお願いします。